陸送協会ニュース

第137号
2014年3月
編集・発行者
一般社団法人日本陸送協会事務局
東京都新宿区新宿 1-11-15
電話 03-3356-3977／7922

平成25年度通常総会
一般社団法人 日本陸送協会としてスタート

去る2月20日㈭、品川プリンスホテルに於いて平成25年度（一社）日本陸送協会通常総会が開催されました。

一般社団法人としてのスタートの年、新協会旗のもと水野副会長の開会のことばの後、佐々木会長より開会の挨拶が有りその後議案の審議に入りました。

開会の言葉　水野副会長

本日はお忙しい中、総会にご参加頂きまして誠にありがとうございます。

当協会の活動に日頃よりご支援ご協力を賜りまして、お礼を申し上げます。

この一年を振り返って見ると、アベノミクスによる景気の回復、消費税の増税前の駆け込み需要など昨年の後半以降、自動車の生産活動も活発に推移してきており、陸送業界においても大変繁忙な時期を迎えている。

我々陸送業界の取り組むべき課題は多くあり、自動車業界の生産と販売を結ぶ重要な役割を果たし、自覚と誇りを持って共に考え、行動をしていく1年としていきたい。

昨年来、「短・中期の活動計画」を取り纏め、現在推進中であるが、主要な3点につき話をさせて頂く。

第1点目は、「交通事故防止・作業事故の防止」すなわち安全の確保であり、これは経営の基盤である。交通事故死者数は減少傾向にあるものの、まだまだ犠牲者は多い。また、業種別の死傷災害発生状況によると全体では減少傾向にあるものの、陸上貨物運送事業はプラス2%である。私たち陸送事業者が率先して安全運行に努め、また、作業事故を無くし、安全な職場環境作りが永遠の課題である。

「教育・認定制度」を2011年より国土交通省の後援により実施し、自走・積載のゴールドドライバー275名、昨年より開始した積載運行管理者ゴールドマネージャー19名が誕生した。

目標として「10年間のトータルで会員事業者毎に1名以上のゴールドドライバー」を目指していきたい。

また、「積載車の路上積み降ろし作業の改善」、「安全・効率作業の向上に向けた積載車の検討」も、自工会・車体工業会等と連携を図りながら進め、幹線道路上の休憩場所の確保も実態調査を踏まえながら活動を進めて参る。

第2点目は、会員事業者の経営実態の把握と関係先への理解活動であり、一昨年の「陸送事業概況調査」の実施により、「陸送事業の経営状況」や「ドライバーの労働条件」等について把握が出来、これまで関係先へ理解活動を推進してきた。会員の皆様が回答しやすい内容への見直しを行い、第2回目を今年の9月に実施したい。

また各支部とのコミュニケーションの強化の為、本部役員と支部役員の意見交換会を実施しており、活動計画に反映していきたい。

第3点目は、当協会は1965年、昭和40年に創立以来、2015年に50周年を迎え、現在50周年記念事業を企画している。

最後に私たち日本陸送協会会員各社は、物流会社としてお客様よりお預かりした車を、安全確実且つ迅速に指定された納期までにお届する事が使命であるという事は言うまでもない。

自動車業界は活発化しているが、陸送事業者の経営環境が好転する兆しはあまり感じられない。陸送部門を持続的かつ魅力あるものに発展させて行く為には、適正な運賃収受や経営改善を図り、ドライバーを中心とした従業員の待遇改善に繋げていかなければならない。私たち自身も安全・品質・納期といった物流会社の基本というものを再徹底し、その力をさらに向上させていくことが大変重要と考える。これらの活動が会員皆様の更なるレベルアップに貢献できれば幸いである。今後とも会員の皆様とのコミュニケーションを図りながら、活動を推進していく。一層のご理解ご支援をお願いする。

会長挨拶　佐々木会長

本日は大変ご多用の中、ご出席を頂き誠にありがとうございます。

今年に入り賀詞交歓会等に十数回程出席をさせて頂き、その中で二つ程申しあげたのは、一つは倍返し、一つは今でしょ、という事を申し上げた。潮目がだいぶ変わってきたなという印象を受けている。

皆様方に於かれては、建設的な意見、ご指摘を頂きたい。

議長選出

定款15条の規定により、青木副会長が選出された。

開会宣言及び議事録署名人の指名

(1)議長から定款第18条の規定で定める総会の定足数について、会員総数714会員（うち正会員538会員）、本日の出席者101会員（うち正会員86会員）、委任状提出者345会員で、正会員出席者数、委任状提出者数の合計431会員が正会員数の過半数を超え、本日の総会は成立する旨報告があった。

続いて賛助会員、細谷車体工業㈱、㈱浜名ワークス2社及び協会顧問の小川徳男氏が紹介された。

⑵定款第19条2項の定めにより議事録署名人に針生忠二氏及び磯部芳治氏が指名され、承認された。

議案審議

●第一号議案●

⑴平成25年度事業報告

資料に基づき佐瀬専務理事より説明があり、①「平成25年度　日本陸送協会　短・中期活動計画」の策定・実施　②「陸送事業概況調査」による渉外活動の推進　③「教育・認定制度」の推進　④公益法人制度改革に伴う「一般社団法人」への移行等の事業報告があった。

⑵平成25年度決算報告

続いて、平成25年度決算について、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計画書等の報告並びに平成26年度決算書（1月1日～1月5日まで）についての報告があった。

⑶平成25年度会計監査報告

田村監事より会計監査を平成26年1月27日実施した結果、本協会の業務及び財産の状況並びに事業報告及び決算について、適切に処理されている旨報告があった。

＊議長は、第1号議案の議決について諮ったところ、平成25年度事業報告、決算報告は満場異議なく原案通り承認された。

●第二号議案●

⑴平成25年度事業報告

資料に基づき佐瀬専務理事より説明があり、①「平成25年度　日本陸送協会　短・中期活動計画」の策定・実施　②「陸送事業概況調査」による渉外活動の推進　③「教育・認定制度」の推進　④公益法人制度改革に伴う「一般社団法人」への移行等の事業報告があった。

⑵平成25年度決算報告

続いて、平成25年度決算について、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計画書等の報告並びに平成26年度決算書（1月1日～1月5日まで）についての報告があった。

⑶平成25年度会計監査報告

田村監事より会計監査を平成26年1月27日実施した結果、本協会の業務及び財産の状況並びに事業報告及び決算について、適切に処理されている旨報告があった。

＊議長は、第1号議案の議決について諮ったところ、平成25年度事業報告、決算報告は満場異議なく原案通り承認された。

●第三号議案●

⑴平成26年度事業計画（案）

資料に基づき佐瀬専務理事より説明があり、喫緊の課題解決のため「陸送業界の継続的発展に向けた活動」、「安全の確立」等の推進を図るとともに、平成23年度から実施している「教育・認定制度」の更なる推進と「陸送事業概況調査」等について継続的に実施していく旨報告があった。

⑵平成26年度収支予算（案）

資料に基づき佐瀬専務理事より説明があった。

＊議長は、第3号議案の議決について諮ったところ、満場異議なく原案通り承認された。

以上をもって、議案審議を終了した。

退任役員への感謝状、記念品の贈呈

後日、各贈呈者に郵送にて送ることとなった。

閉会の辞　遠藤副会長

議事の進行にご協力頂きまして、お礼を申し上げます。

平成26年度は我々が取り組んでいる重要課題に加え、当協会が来年50周年を迎えるためプロジェクトも進めており、来年2月には記念式典を行う予定である。

会員皆様方の、ご支援ご協力をよろしくお願いしたい。

懇親会の開催

○開会の言葉　岩下副会長

岩下副会長より懇親会開催の挨拶をいただき、その後国土交通省自動車局長田端様よりご挨拶と乾杯の御発声を頂き懇親会が開催された。

開会のことば　岩下副会長

乾杯　国土交通省自動車局長

小川顧問と和やかに

ご来賓の参議院議員直嶋様より挨拶を頂きました

○閉会の言葉　永井副会長

永井副会長より閉会のことばを頂き、終始和やかな中に懇親会を終了致しました。

支部だより

北海道支部

平成25年度定時総会・優良従業員表彰並びに優良運転者表彰式開催

開催日　平成26年2月5日（水）
会　場　札幌サンプラザ

本部より佐々木会長、佐瀬専務理事、泉澤東北支部長代理が出席され総会が開催された。

中村支部長の挨拶に続いて議題に入り、「自走トレーナー教育・ドライバー教育」の開催など25年度事業報告、決算報告、会計監査報告、また、26年度事業計画では、積載ドライバー教育の開催のほか重点項目、収支予算（案）が提案され満場一致で承認された。

任期満了に伴う役員改選では全役員が留任となった。

その後、佐々木会長より「教育・認定制度」の推進、「陸送事業概況調査」及び「支部活動の充実」などについて挨拶をいただいた。

優良従業員表彰並びに優良運転者表彰

中村支部長の式辞に続いて本部会長表彰者7名と北海道支部長表彰者21名の合計28名に表彰状と記念品の授与が行われた。

北海道運輸局自動車技術安全部長飯坂清己様と北海道警察本部交通部調査官の高瀬裕様より祝辞をいただいた。

受賞者を代表して、本部表彰者のノーストランス㈱井村哲様から謝辞が有り、記念撮影の後懇親会が行われた。

尚、総会に先駆け本部から佐々木会長、佐瀬専務理事、支部からは支部長他12名の役員による意見交換会が開催されました。

理事会だより

1月定例理事会

審議事項

1．通常総会について

(1) 日程及び議事次第

(2) 提出資料の審議

①第一号議案　平成25年度事業報告及び決算報告

②第二号議案　役員の一部改選

③第三号議案　平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)

(3) 議事進行(案)

2．一般社団法人移行について

(1) 公益目的支出計画（公益目的財産額の確定）

3．「平成26年度陸送協会　短・中期活動計画」について

(1) 「教育・認定制度」の推進

①修正版マスタープラン

②平成26年度実施計画

(2)「陸送事業概況調査」等について

(3) 創立50周年記念事業について

以上について審議を行いました。

今回は、理事会に先駆けて水町クリニック・水町先生より「運転従事者における脳MRI検診の意義」といったテーマで講演をいただきました。

共同パトロールを開催

(一社)日本陸送協会・11社会車両物流サービス会社安全分科会合同による共同パトロール（積載部門・自走部門）が開催された。

実施日時：平成25年2月14日㈮
会　　場：ダイハツ尼崎物流センター
時　　間：10時～12時

小雪の降る中でのパトロールとなりましたが、陸送協会からは佐瀬専務理事、東北支部からは三浦副支部長、11社会からは11社19名が参加して行われました。

パトロール終了後は忌憚なく意見交換が行われ、今後の安全作業に生かしていくことが確認されました。

共同パトロール事前打ち合わせ

小雪の降る中でのパトロール

陸送協会ニュース ●発行日 2014年3月 ●編集・発行者 一般社団法人日本陸送協会事務局
東京都新宿区新宿1―11―15
電話03(3356)3977/7922

春の交通安全週間

統一標語

「安全は 気くばり 目くばり 思いやり」

平成24年度交通安全標語
「タカラ梱包輸送株式会社　長尾　隆英さんの標語です

運動期間

全　　国／平成26年4月6日(日)～15日(火)までの10日間
　　4月10日(木)は「交通事故ゼロを目指す日」です
陸送協会／平成26年4月1日(火)～30日(水)までの1ヶ月間
　　（春の交通安全強化月間）

運動重点

実施にあたっては、国土交通省実施計画で定める「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか、「自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底」「すべての座席のシートベルトの正しい着用の徹底」及び「飲酒運転の根絶」の全国重点に留意するとともに、当協会作成の「平成 26 年の交通安全強化月間の実施要領」に取り組むことをお願い致します。

入退会情報

入　　会

平成26年１月　㈱HIZロジスティクス　仙台営業所

退　　会

平成26年１月　㈱フレシス

事務局日誌

経過報告

1 /23　臨時正副会長会議兼総務部会、
　　１月定例理事会
2 / 5　北海道支部総会
2 /14　共同パトロール（尼崎）
2 /20　臨時正副会長会議兼総務部会、
　　臨時理事会
2 /20　平成25年度通常総会
3 / 6　四国支部総会
3 / 7　九州支部総会

今後の予定

3 /20　正副会長会議兼総務部会
4 /21　臨時正副会長会議兼総務部会、
　　臨時理事会
4 /21　自動車総連との産業労使会議
4 /24　関東支部総会
5 /15　近畿支部総会
5 /23　中部支部総会